

幼児教育・保育関連の本市動向等

○平成 31 年度の保育所待機児童対策

◇小規模保育事業所 1 か所増へ向けた検討

- ・子ども・子育て支援事業計画では、2 園整備することとしているところ。
- ・待機児童対策としての効果と 3 歳以降の受け皿との関係で、1 園への整備補助を検討。
- ・市議会へ補正予算を提案し、公募・選考。

◇逗子幼稚園・第二逗子幼稚園の認定こども園化

- ・市で法人を支援

○幼・保・小の一貫した教育プログラムの構築について

◇幼稚園教育要領・保育所保育指針・小学校学習指導要領の改定

- ・幼児教育と小学校の円滑な接続を図ることが明確に位置付けられた
- ・幼稚園・保育園でのアプローチカリキュラム(プログラム)等の作成
- ・小学校のスタートカリキュラムの作成

※平成 30・31 年度の 2 か年で検討し、平成 32 年度(小学校学習指導要領の全面施行時)から施行。

◇手法等

- ・幼稚園・保育園は、市で主催する幼稚園・保育園長会議を集約の場として検討する。
- ・ペーパー化すること、会議・連絡会等のソフト面の両面で連携手法を検討する。
- ・幼児教育は保育課、小学校は学校教育課が鍵となり、より円滑に実施できるようにする。

○平成 30 年度 逗子市「子どもの育ちを支える」幼児教育・保育講座の開催

今回は、双葉保育園より「環境設定と子どもの遊び」について 1 年間の試行錯誤の記録に基づく報告をいただき、その後にグループワークを行った上、講師より講評と講演を頂きます。

遊びの広がりや深まりと環境設定の工夫について、参加者皆さんで共有し、各園の実践のご参考にして頂くと共に、ディスカッションを通じた交流も図ります。

◇テーマ「環境設定と子どもの遊び」

～子どもの姿から考える環境設定:ビジュアル記録からの考察～

◇日 時 平成 30 年 6 月 23 日(土) 午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

◇内容 ①実践報告 双葉保育園(園長と各年齢別クラス担任)
 ②グループワーク 実践報告を受けグループで意見交換、発表
 ③講評と講演 寶川 雅子先生 鎌倉女子大学短期大学 准教授